

# 自分の夢と目標を持って、生徒一人ひとりが 毎日の学校生活の中でやりたいことを**探究**していきます。 生徒が希望する進路の実現に向けて徹底サポートします。

Point /

## 進路指導

将来を見据えた進路目標に向かって、「なりたい自分」の実現を目指します。講演会や個別添削指導等、様々な取組を行っています。自己の個性、適性に合った進路目標を見つけるために大学や職業調べをします。また実際に大学を訪問したり、卒業生や大学の先生の話聞く機会もあります。

担任の先生とは幾度も面談を繰り返し、進路先を決定していきます。



## 進学実績[主な大学の合格数] 多くの先輩方が努力を重ねて目標を達成しています。

国公立大学	令和5年度	令和4年度	令和3年度
北海道大学	1	2	1
東北大学		1	
筑波大学			1
埼玉大学	2		1
千葉大学	1		
お茶の水女子大学	2	1	2
東京大学			1
一橋大学		1	
上越教育大学	2	1	3
新潟大学		3	2
富山大学	35	19	22
金沢大学	39	40	40
福井大学	6	3	5
信州大学	1	2	5
名古屋大学	1	1	1

国公立大学	令和5年度	令和4年度	令和3年度
京都大学	1	4	1
大阪大学		1	2
神戸大学		5	3
奈良女子大学	1	2	1
石川県立大学	11	10	13
石川県立看護大学	5	3	6
金沢美術工芸大学	4	5	1
公立小松大学	10	12	11
他国公立大学	35	26	26
国公立大学計	157	142	148

  

私立大学	令和5年度	令和4年度	令和3年度
青山学院大学	5	3	3
慶應義塾大学		2	
駒澤大学	1	4	1

私立大学	令和5年度	令和4年度	令和3年度
上智大学			1
中央大学		11	4
東京理科大学	1	3	
法政大学	4	10	2
明治大学	4	8	3
立教大学		8	1
早稲田大学	2	2	1
中京大学	8	11	12
名城大学	3	5	4
同志社大学	1	9	12
立命館大学	32	45	40
関西大学	8	13	18
関西学院大学	6	25	13
他私立大学	808	665	675
私立大学学計	883	824	790



北海道大学

【総合理系】

岡 啓彦

『塵も積もれば山となる』

私達の高校生活は二か月の休校から始まりまし  
た。高校受験直後の解放感に溢れた春。当然勉強  
なんて辞めてしまいます。一年の春から二年の冬に  
入るまで私の学習習慣となるとそれはもう酷いもの  
でした。受験で一番辛かった時期は勉強が習慣に  
なるまでの数か月だったかもしれません。以上の経  
験を踏まえて、皆さんに伝えたいことは一つ。せめて  
一分でも構いません、毎日勉強してください。勿論例  
外はあっても構いません、ですがその例外はあくまで  
も例外になるようにしてください。勉強が日課になる  
ようにしてください。勉強に部活と高校生活は忙しく  
過ぎていきます。悔いなく過ごすのは難しいでしょう。  
だからどうか、今出来る全力を尽くしてください。楽し  
いことも苦しいことも、皆さんを成長させる糧となりま  
す。一日一日を大切に、全力を尽くしたと言えるよう  
に過ごせることを祈っています。



お茶の水女子大学

【生活科学部・人間生活学科】

越野 雪月

『自分と向き合おう』

私は志望大学を確定するまでかなり時間がかかり  
ました。実際、お茶の水女子大学を志望し始めたのは  
夏休み終わりからです。確定したきっかけは一から自  
分の興味のあることを考え直したことです。私はもとも  
とと家庭科が好きだった上、高校2年生の時の課題研  
究で「女子生徒のストラックスを作ろう」という課題に  
取り組んだことから、服飾やジェンダー問題に興味を持  
ち始めました。将来の夢は決まっていなかった為、そう  
いった興味のある事から大学探しをしようと思い、たく  
さん調べた結果自分に合う大学を見つけました。その  
結果、第1志望は私にとっての憧れの大学となり勉強  
へのやる気がそれ以前に比べて格段と上がりました。  
錦丘には総合の授業で大学調べや自分と向き合う時  
間が豊富にあります。私自身、総合での活動のおかげ  
で悔いのない選択をできたと思っています。皆さんにも  
自分にとって最適な将来の選択をできるよう、錦丘で  
の活動に積極的に取り組んで欲しいです。



金沢大学

【人間社会学域 経済学類】

武内 士

『良い環境で良い高校生活を』

私はずっと自分の描く将来像というものを持っていま  
した。しかし、そんな私でも部活動、受験勉強などにおいて全力  
で取り組むことができました。特に大きな目標もなかった自分  
が、目の前に全力を注ぐことができたのは「環境」が最  
も大きな要因であったと高校生活を終えた今、感じています。  
私には部活動で何もかも上手くない時期がありまし  
た。当時私の中で部活動における向上心が消えていま  
した。しかし、そんな時に部員が自主練習にしてくれて  
くれたお陰で、上達と共に、それからは大きな熱量を持って取り  
組むことができました。「環境」が私を助けてくれました。また、  
受験勉強において、私は家で全く勉強ができませんでした。  
家でできないなら、家になければいい。そう考え、勉強でき  
る「環境」に身を投じる事にしました。塾に通わない私は、高  
三の間、友達と共に学校に週七登校しました。合格できた  
のは、そんな「環境」のお陰です。  
皆さんも「環境」に助けられ、「環境」を活用し、高校生活  
を全力で過ごしてください。